

研究課題番号	3MF-2203
研究課題名	ICT等を活用した家庭系食品ロス削減施策の発生抑制効果に関する研究
研究実施期間	令和4年度～令和6年度
研究機関名	京都府立大学
研究代表者名	山川 肇

1. 委員の指摘及び提言概要

家庭における食ロス削減は、いかに市民の中に意識付けを行うかが重要であるが、そのための取り組みとしていい形で進められている。家族構成による差が大きくなると思われるので、そこについてはより意識的にアンケート等を進め、できる限り類型化を進めて欲しい。各個人（家庭）の行動選択には、各個人（家庭）の特性（意識・日常の行動等）が影響するため、これらの関係を先行研究等を踏まえて、意識することも必要である。「食品ロス関連行動等への影響調査」や「冷蔵庫管理等を支援するICT等を活用」が、自治体の削減目標や住民の日常性に与える影響、食品ロスの定量評価に繋がることを期待したい。

2. 採点結果

評価ランク：A